

(事業名)

GiraffeWork Powered by MAERSK TRAINING



1-1.事業の概要

GWO認証の訓練施設の設置及び運営

開校予定：2024年3月

対 象 者：洋上風力発電のO & M、設置及び撤去に関連する人材

規 模：年間の受講可能者数 最大1,500人

場 所：神奈川県川崎市

特 徴：①国内初となる下記GWO認証コースの開設

上級救助訓練、同リフレresherコース

上級応急手当訓練、同リフレresherコース

基礎技術訓練

②利便性の高い首都圏での開校

③海外と同規模の訓練用プールの設置

④マースク・トレーニング社による専門的知見の提供

1-2.事業の目的

(1) 課題設定の背景

- 国内の洋上風力発電に関連する人材不足（特に、O&M人材の不足は深刻）
- GEリニューアブル・エナジー、ベスタス、シーメンスガメサ・リニューアブルエナジーが製造する風力発電機の作業に従事するには、GWO認証施設での基礎安全訓練を修了していることが必要
- 洋上での作業となるため安全確保も課題

(2) 事業の目的・目標

- 訓練施設を首都圏に設置することで、全国各地で作業する作業員の利便性を確保する
- 1年当たり最大で1,500人が受講できる大規模な訓練施設とすることで、洋上風力発電に関連する人材を多数輩出する
- マースクトレーニング社と協力することで、より安全に作業が可能かつ技術水準の高い作業員を育成する

2-1.事業の実施内容



本施設は首都圏に位置し、全国から年間最大1,500人の受講生を受け入れることが可能

2-1.事業の実施内容



建設予定地 約1,000m²

大京建機株式会社（完全親会社）
が所有する土地の一部を使用
全体敷地図 約3,300m²

2-1.事業の実施内容

建物・施設

- ・株式会社門倉組が設計・建築
- ・GWOの認証基準を満たすため、マースク・トレーニング社の助言を受ける
- ・施設詳細

教室 4 室（収容人数：各15人）、プール（海外のGWO認証施設と同規模）、高所タワー、クレーン、更衣室、シャワー室 等

備品

マースク・トレーニング社から各カリキュラムに必要な備品リストの提供を受け、同リストに基づいてよりよい条件で当社で調達

システム

GWO の認証施設となるためには、受講者の情報や受講状況を適切に管理できるシステムの導入が必要

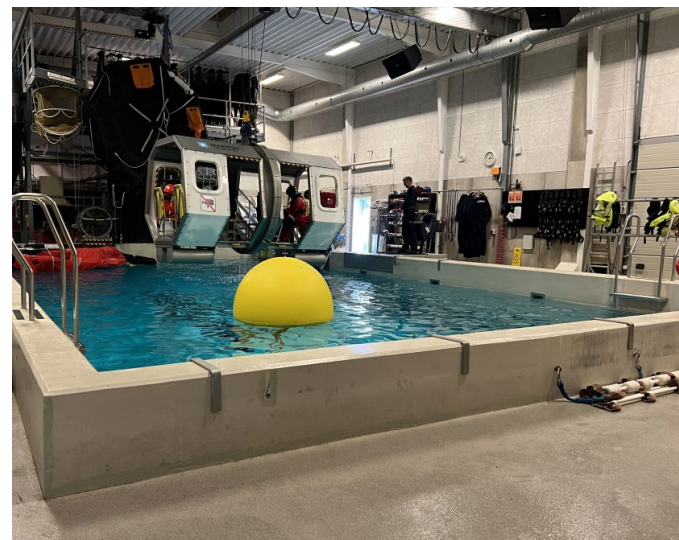
マースク・トレーニング社から管理システムの導入に関する支援及び助言を受け、システムの導入や運用体制の整備を行う

施設開校後の品質維持

1 年に 1 回 マースクトレーニング社からの監査を受けることにより、提供する各カリキュラムがGWOの定める基準から逸脱しないよう、品質を維持

組織体制

総括事業代表者	1 人
副総括事業代表者	1 人
事務管理責任者	1 人
施設長	1 人
事務スタッフ	2 人
正指導員	4 人
補助指導員	2 人



※参考 今回設置予定のプールと同規模のもの

2-1.事業の実施内容

提供するカリキュラムの内容

①基礎安全訓練（Basic Safety Training）

- 1 応急措置（First aid）
- 2 マニュアルハンドリング（Manual Handling）
- 3 火災予知（Fire Awareness）
- 4 高所作業（Working at height）
- 5 海上生存技術（Sea Survival）

②基礎安全訓練リフレッシュコース（BST 既受講者向けコース）

- 1 応急措置の能力維持
- 2 マニュアルハンドリングの能力維持
- 3 火災予知の能力維持
- 4 高所作業の能力維持
- 5 マニュアルハンドリングを伴う高所作業の能力維持
- 6 海上生存技術の能力維持

★③上級救助訓練（Advanced Rescue Training Standard）、同リフレッシュコース

- 1 ナセル、タワー、基部の救助
- 2 ハブ、スピナー、ブレード内の救助
- 3 単独救助 – ハブ、スピナー、ブレード内
- 4 単独救助 – ナセル、タワー、基部

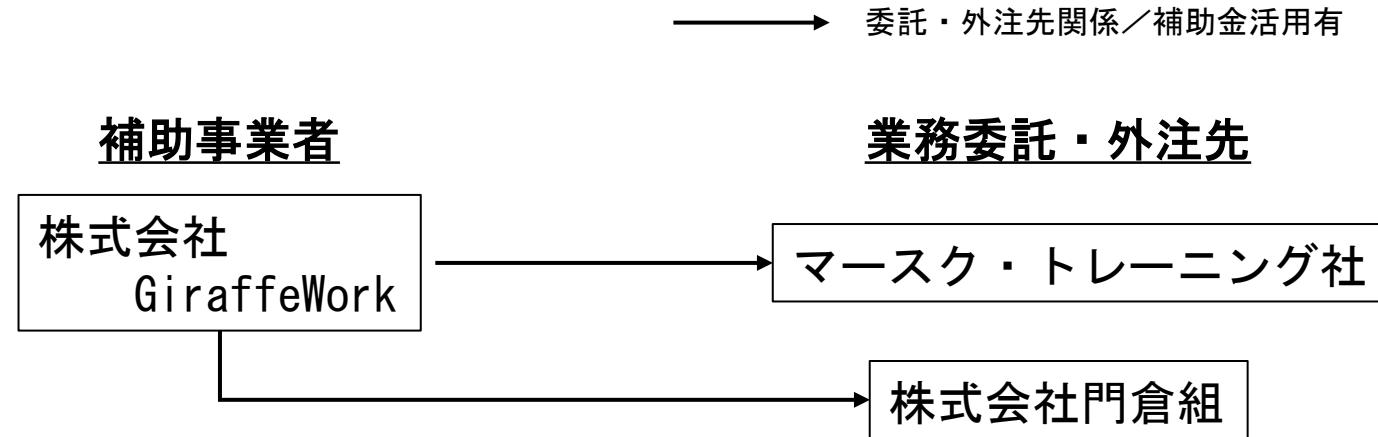
★④上級応急手当訓練（Advanced First Aid Training Standard）、同リフレッシュコース

★⑤基礎技術訓練（Basic Technical Training）

- 1 電気（Electrical）
- 2 機械（Mechanical）
- 3 水力学（Hydraulic）
- 4 設置（Installation）

★は、国内初設置のコース

2-3.実施体制



株式会社GiraffeWork

マスク・トレーニング社

デンマークの人材訓練会社で、1977年の石油プラントでの事故をきっかけに、労働安全衛生の向上を目指し、1978年に設立された。それ以降、海事業界、風力業界等、様々な分野の専門的な訓練を提供している。GWO との関係では、GWO 基礎安全訓練及びGWO 基礎技術訓練の提供を行っており、GWO 上級救助訓練、GWO 上級応急手当訓練等のカリキュラムの開発において、風力発電業界及びGWO と緊密な協力関係を築いている。

株式会社門倉組

神奈川県藤沢市の建設会社で、大型プールの建設実績がある。

2-4.実施スケジュール

実施内容	年	2022				2023												2024							
	月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
マスク・トレーニングとの関係																									
本事業に関する基本合意書の調印式																									
事業内容具体化に向けた打ち合わせ (全6回) ※1																									
人材採用・育成																									
施設長の採用																									
事務スタッフの採用(予定)																									
指導員の採用																									
マスク・トレーニング社(デンマーク)で本施設の指導員訓練																									
施設建設																									
建築資材の調達開始																									
建築申請																									
本施設の建物建築 着工																									
基礎工事																									
鉄骨建方																									
高所タワー用コンテナ設置																									
プール建築																									
受講管理システムの導入開始																									
施設の竣工																									
本施設の運営 ※2																									
受講者の受付開始																									
本施設の開校																									

その他の実施スケジュール

- マスク・トレーニング社との打ち合わせは、必要に応じて適宜実施
- 広報・PRについては、本事業の進捗に合わせて、プレスリリース等を実施
- 備品の調達については、必要数が多く、国際海上輸送の状況も不安定であるため、開校に間に合うよう、本事業の開始後に適宜調達を開始